

大智学園高校・通 対 長尾谷高校・通

■試合時間 1時間55分 ■備考 5回コールド

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6										計	安	失
長尾谷・通	大阪	0	0	0	0	1	0										1	4	0
大智学園・通	東京2	2	1	0	1	5	2x										11	10	1

[illegible]

投手	捕手
谷川大翔	前野耀平
春木琉翔	
嘉藤絆	

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
谷 川 大 翔	2	13	4	2	3	3	61
春 木 琉 翔	3	16	3	1	6	6	78
嘉 藤 絆	1	8	3	0	2	2	22

[illegible]

投手	捕手
渡 邊 敦 貴	辻 順 夫

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
渡 邊 敦 貴	6	21	4	3	0	1	78

2回戦神宮球場の第2試合は東京都第2代表・4年連続4回目の出場の大智学園高等学校 通信制と大阪府代表・3年連続7回目の出場の長尾谷高等学校 通信制との対戦となった。初回大智学園の攻撃は先頭打者が四球で出塁し、3番川島の安打と5番渡邊の二塁打で先制を決す。続く2回と4回に相手のミスに乗じて得点を重ねる。反撃したい長尾谷は4回に2番川島が三塁打放ち、チャンスを作るも後続が凡退し無得点に終わるも、5回に東谷の安打を皮切りに、谷川の適時打で点差を縮める。その裏大智学園は、4番古賀の2点タイムリなどで一挙5得点で突き放し、6回に鯉田の本塁打などで2点をとり、大会規定により、先回10点差コードルにより、試合を決めた。大智学園先発の渡邊は3回までパーフェクトに抑えるなど、長尾谷打線は6回を1失点にまとめ、完投し先発の役目を果たした。